

- 1 次の数の平方根を求めなさい。
 - (1) 36

 $(2) \frac{1}{25}$

± 6

 $\pm \frac{1}{5}$

- 2 次の値を根号を使わずに表しなさい。
 - $(1) \sqrt{81}$

 $(2) -\sqrt{25}$

9

- 5

$$(3) \quad \sqrt{\frac{1}{36}}$$

1 6

(4) $(-\sqrt{7})^2$

7

- 3 次の数について、根号の中をできるだけ簡単な数に直しなさい。
 - $(1) \sqrt{45}$

 $(2) - \sqrt{75}$

3√5

 $-5\sqrt{3}$

- 4 次の数の大小を、不等号を使って表しなさい。
 - (1) $\sqrt{10}$, $\sqrt{11}$

 $(2) - \sqrt{5}, -\sqrt{7}$

 $\sqrt{10} < \sqrt{11}$

 $-\sqrt{5} > -\sqrt{7}$

5 次のア、イにあてはまる用語、ウにあてはまる数を入れなさい。

a を整数, b を 0 でない整数とするとき, $\frac{a}{b}$ のように分数の形で表すことのできる数を (r)

といいます。 $\sqrt{50}$ のように分数で表すことのできない数を(イ)といいます。

(イ) には, $\sqrt{50}$ 以外に,例えば(ウ)があります。